

科目名称：	保育内容「言葉」の指導法Ⅰ	
担当者名：	太田 淳子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
「言葉」は、遊びという子どもの自発性が最も発揮される活動の中で育まれることを認識するとともに、絵本や紙芝居、素話といった遊び(児童文化財)を体験することの意味を理解する。また、子どもの前で絵本を読んだり、紙芝居や素話を演じたりすることができるように練習を重ね、保育者としての資質・能力を養う。		
授業の達成目標・到達目標		
①領域「言葉」について、「言葉」の育ちと遊びを関連づけるとともに、保育者の役割を理解している。 ②絵本や紙芝居、素話といった遊び(児童文化財)を体験することの意味を理解している。 ③絵本や紙芝居、素話といった遊び(児童文化財)に関する基本的な知識や技能を習得している。 ④絵本や紙芝居、素話といった遊び(児童文化財)の基本的な知識・技能の習得に向けて、ルーブリック評価を活用できる。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)		40	30	30	100
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	とてもよい	よい	もうひとつ	要努力
領域「言葉」に対する関心と内容理解	領域「言葉」に対する関心が高く、内容をよく理解している。	領域「言葉」に対する関心があり、内容を理解している。	領域「言葉」に対する関心はあるが、内容についての理解が不十分である	領域「言葉」に対する関心も内容理解も不十分である。
児童文化財を体験することの意味の理解	児童文化財を体験することの意味をよく理解している。	児童文化財を体験することの意味を概ね理解している。	児童文化財を体験することの意味をあまり理解していない。	児童文化財を体験することの意味をほとんど理解していない。
児童文化財に関する基本的な知識・技能の習得	児童文化財に関する基本的な知識・技能をよく習得している。	児童文化財に関する基本的な知識・技能を概ね習得している。	児童文化財に関する基本的な知識はあるが、技能はやや不十分である。	児童文化財に関する基本的な知識・技能の習得が不十分である。
児童文化財の知識・技能の習得に向けてのルーブリック評価の活用	児童文化財の習得に向けてのルーブリックの活用がよくできている。	児童文化財の習得に向けてのルーブリックの活用が概ねできている。	児童文化財の習得に向けてのルーブリックの活用がやや不十分である。	児童文化財の習得に向けてのルーブリックの活用が不十分である。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「保育内容『言葉』の指導法Ⅰ」のガイダンス(演習) 自己紹介のミニ絵本作成 振り返りカードの記入	「『保育内容 言葉の指導法Ⅰ』のガイダンス」要点をまとめる	90分
第2回 領域「言葉」の特徴・言葉を育てる視点と保育者の役割(演習) 言葉のワークショップ 振り返りカードの記入	「領域『言葉』の特徴等」要点をまとめる	45分
第3回 ①絵本の魅力・読み聞かせの方法(演習) 教師による実演 発達に応じた絵本の選び方 振り返りカードの記入	「絵本の魅力・読み聞かせの方法」要点のまとめ 読み聞かせ用の絵本選定	45分
第4回 ②絵本の読み聞かせの練習 グループ練習・個人練習 振り返りカードの記入	絵本の読み聞かせの練習	45分
第5回 ③絵本の発表会(グループ) ルーブリック評価 振り返りカードの記入	ルーブリック評価を踏まえた絵本の読み聞かせの練習	45分
第6回 ④絵本の発表会(全体) ルーブリック評価 振り返りカードの記入	「絵本の読み聞かせ」要点をまとめる	45分
第7回 ①紙芝居の教育的意義と魅力・その演じ方(演習) ミニ紙芝居の作成 振り返りカードの記入	「紙芝居の教育的意義と魅力・その演じ方」要点をまとめる	45分
第8回 ②紙芝居の練習 紙芝居の演じ方のDVD視聴 グループ練習 振り返りカードの記入	紙芝居の自分のパートの練習	45分
第9回 ③紙芝居の練習と発表会(前半) ルーブリック評価 振り返りカードの記入	紙芝居の自分のパートの練習	45分
第10回 ④紙芝居の練習と発表会(後半) ルーブリック評価 振り返りカードの記入	「紙芝居の演じ方」要点をまとめる	45分
第11回 絵本や紙芝居を取り入れた実習の振り返り 俳句の知識・技能と実習俳句の作成	「俳句の知識・技能」要点をまとめる	45分
第12回 ①素話の魅力と特徴・その演じ方(演習) 教師による実演 グループ練習 振り返りカードの記入	素話の自分のパートの暗記と練習	45分
第13回 ②素話の練習 素話のCD視聴 グループ練習 振り返りカードの記入	素話の発表会の練習(動画撮影)	90分
第14回 ③素話の発表会 ルーブリック評価 振り返りカードの記入	小テストの勉強	45分
第15回 小テスト 「保育内容『言葉』の指導法Ⅰ」のまとめ	「保育内容『言葉』の指導法Ⅰ」要点をまとめる	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト(40%) 授業内課題(30%) 絵本・紙芝居・素話の発表内容(30%)

課題に対するフィードバック

- 1 授業内プリントは、コメントを書いて返却する。
- 2 絵本・紙芝居・素話の発表の評価については、ルーブリックを使用して相互評価させて返却する。

教科書・参考書

テキスト 『コンパス 保育内容 言葉』(建邦社) プリント配付(テキストは適宜授業で使用する)
参考書・参考資料等
「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
授業中に適宜資料を配付